



HSMニュース

日生シippマネージメント(株) 創立7周年



この度、日生シippマネージメント株式会社は、2023年12月1日を持ちまして創立7周年を迎える事が出来ました。

厳しい市場環境や社会情勢の中、波乱の日々ではございましたが、皆様の温かいご支援とご協力により、ここまでの7年間を何とか歩むことが出来ました。この場をお借りして、心より深く感謝申し上げます。

個人的には、すでに7年も経っていたのかというのが正直な感想です。私自身、気持ちはまだ会社立ち上げ当初の40歳手前位のつもりですが、気がつけばアラフォーどころかアラフィフ。

改めて鏡を見ると白髪も増えているし、そういえば体重も最近落ちにくくなったのは、加齢で代謝が悪くなっているんだろうと・・・と、7年という時間の経過を体でも感じております。

とはいえ気持ちはまだまだ創立当初と変わりません！ 今後は、管理体制の更なる充実を図り、お客様により安心していただける船舶管理会社を目指します。また、船舶管理を核とした関連事業を本格化させ、皆様のお役に立てる企業となるよう邁進いたします。

今後とも、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

神戸事務所を開設しました！

この度弊社では、2023年12月1日より神戸事務所を開設いたしました。

日生本社での管理体制・業務体制はこれまで通り継続いたしますが、皆様もご存じの通り、神戸は海事産業が盛んである事から、更なる管理体制の充実や事業の拡大を行う基盤の一つと位置づけ、新たな拠点を立ち上げる事と致しました。

取り急ぎの開設となりましたので、神戸事務所は個室タイプのレンタルオフィスを利用しており、少し手狭ではありますが、神戸らしいレンガを基調とした雰囲気など、オシャレで心地よく仕事の出来る空間となっております。また、打合せスペースもございますので、皆様お気軽にお立ち寄りください！（ただし当面の間は、日生と神戸事務所を行き来しており、不在の時もございますので、神戸事務所へご来社の際は予めご一報頂ければ幸いです）

日生の落ち着いた環境も好きですが、神戸は活気が感じられて良いですね。悩みがあるとすれば、神戸事務所から自宅へまっすぐ帰宅しようと思っても、誘惑(🍷🍷🍷🍷🍷🍷)が多く、ついつい引き寄せられてしまうため、帰りが遅くなる事でしょうか・・・

日生シippマネージメント株式会社
神戸事務所

〒651-0086

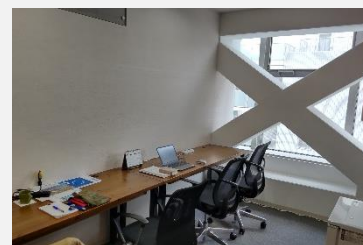
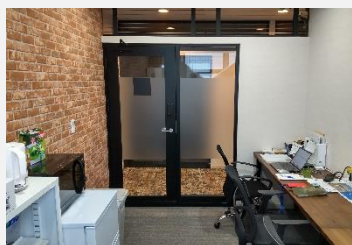
兵庫県神戸市中央区磯上通4丁目1-14

三宮スカイビル 8階802号

(JR三ノ宮駅より徒歩約8分)

※お越しの際は、7階 120 workplace kobe (レンタルオフィス・ワーキングスペース受付)へお申し付けください

※なお、業務やその他お問い合わせ等につきましては引き続き日生シippマネージメント株式会社 本社までお気軽にお問い合わせください



中国でのドライドックを実施しました！

昨年7月に続き、10月下旬～11月下旬の約1ヶ月間、弊社管理船が中国にて入渠工事を実施しました！

今回の入渠は、大きな工事も含めて多くの作業を予定しており、また船齢も古い事からも、現場での発見追加工事もある程度覚悟はしていましたが、入渠後想定を超えて見つかる不具合の数々・・・当初は2週間を予定していた所、最終的には1ヶ月近くかかってしまう、大変タフなドックとなりました。

今回も当社監督が実際に現場で立ち会っての実施となりましたが、相当ハードだったのか、入渠ダイエットに成功(?)したようでシルエットがすこしスッキリした状態で帰ってきました(痩せたと言うよりやつれて帰ってきたという情報もありますが・・・)。

船齢も古く、色々と不具合箇所もあることは当然認識しておりましたが、今回修繕等を行った内容からも、やはり、日ごろからの対応、日々のメンテナンの重要性を改めて感じました。



傭船ブローカーはじめました

前号でご案内していた昨年10月設立の「株式会社HSM」にて傭船ブローカー業務をスタートし、先日1隻の傭船仲介業務を行いました。

今回は、弊社グループの船主殿において、元々日本のオペレーターに傭船に出していた船が返船されることになり、新たな傭船先を探している中、当方でお役に立つ事が出来ました。

当初は、船主殿も日本のオペレーターで探しておりましたが、船齢や現在のマーケットの状況などもあり、国内オペレーターでは中々傭船先が見つからない状況でした。

その状況において、海外の傭船先でも構わないので探したいとのことだったので、弊社が昔から付き合いがあり、現在2隻の船舶管理を弊社へ委託して頂いている台湾のオーナーオペレーターである「Splendor Transportation Co., Ltd.」殿に打診し、交渉を進めました。

同社とは、弊社創業当時の管理船舶の傭船先としてお付き合いがスタートしており、もう7年程の長い付き合いとなります。

同社は、General Cargoを得意とし近海航路に配船しているオペレーターですが、最近ではスモールスモールハンディなどのバルクキャリアも積極的に用船している勢いのあるオペレーターです。

今回の弊社グループの船主殿も以前所有していた船を用船してもらっていた事もあり、非常に良好な関係であったことから、比較的スムーズに話を進める事が出来ました。

とはいえ、マーケットの状況もありましたので、船主殿にも妥協頂く点もありながらもこちらの要望も伝え、一方Splendor Transport殿からもその点ご理解いただき、最大限の譲歩をしてもらい、最終的にお互いに納得いただく形で契約することが出来ました。

株式会社HSMでは、海運業に関する高度な解決策を提供する会社として、システムの提供や用船の仲介、その他海運に関連する様々な事項にて皆様をサポートして参りたいと考えております。

もしなにか困りごとなどございましたら、雑談程度からでも結構ですのでお気軽にお話し頂ければ幸いです！



ピックアップ!

ここでは、私共が目にして気になった記事やニュース等を紹介させていただきます。
海運に関する事や海運に関係なくても興味がわく様な内容の物を色々紹介していきたいと思ます!

こんにちは！今回も、最近メタボが急速に進んでいる悩み多きアル中オヤジが気になった言葉をピックアップしてみました。
聞いた事あるかもしれませんが、あの有名な「ハーバード大学」の図書館の壁に書かれているという噂の言葉を紹介致します。

1. 今居眠りすれば、あなたは夢をみる。今学習すれば、あなたは夢が叶う。
Sleep now and a dream will come out; Study now and a dream will come true
2. あなたが無駄にした今日はどれだけの人が願っても叶わなかった未来である。
Today you wasted is tomorrow loser wanted.
3. 物事に取りかかるべき一番早い時は、あなたが「遅かった」と感じた瞬間である。
The earliest moment is when you think it's too late.
4. 今日やるほうが、明日やるよりも何倍も良い。
Better do it today than tomorrow.
5. 勉強の苦しみは一瞬のものだが、勉強しなかった苦しみは一生続く。
The pain of study is temporary; the pain of not study is lifelong.
6. 勉強するのに足りないのは時間ではない。努力だ。
You never lack time to study; you just lack the efforts.
7. 幸福には順位はないが、成功には順位がある。
There might not be a ranking of happiness but there is surely aranking of success.
8. 学習は人生の全てではないが、人生の一部として続くものである。
Studying is just one little part of your life; loosing it leads to loosing the whole life.
9. 苦しみ避けられないのであれば、むしろそれを楽しめ。
Enjoy the pain if it's inevitable.
10. 人より早く起き、人より努力して、初めて成功の味を真に噛みしめる事ができる。
Waking up earlier and working out harder is the way to success.
11. 怠惰な人が成功する事は決してない、真に成功を収める者は徹底した自己管理と忍耐力を備えた者である。
Nobody succeeds easily without complete self-control and strong perseverance.
12. 時間は、一瞬で過ぎていく。
Time passes by.
13. 今の涎は将来の涙となる。
Today's slaver will drain into tomorrow's tear.
14. 犬の様に学び、紳士の様に遊べ。
Study like a Dog; Play like a gentleman.
15. 今日歩くのを止めれば、明日からは走るしかない。
Stop walking today and you'll have to run tomorrow.
16. 一番現実的な人は、自分の未来に投資する。
A true realist is one who invests in future.
17. 教育の優劣が収入の優劣。
Education equals to income.
18. 過ぎ去った今日は二度と帰ってこない。
Today never comes back.
19. 今この瞬間も相手は読書をして力を身につけている。
Even at this very moment your competitors keep reading.
20. 苦しんでこそ成長がある。
No pain, No gain.

いや～何か熱いメッセージが込められていて良いですね～！皆さんも何だかやる気が出てきませんか？

「唯一世界の人すべてに平等に与えられたのは『時間』である」と言われるように、時間はすべての人に平等に流れています。
上記の「ハーバード大学」の壁に書かれていると噂される言葉達をみているとこの教訓が当てはまる様に感じます。

今さら聞けない

海運基礎知識 「密航者について」

今回は、「密航者」について少し触れてみたいと思います。

密航者は、船主や管理会社、そして船長にとって非常に迷惑極まりない存在であり、実務上も大変な影響を及ぼします。

1. 密航者の概念及び定義

国家の出入国法規に違反して、一国から他の国に赴く者を広く不法出入国者と称するが、その内でも船舶に潜入して、その目的を達しようとする者を「密航者 (Stowaway)」と言います。

国際海上交通の簡易化に関する条約(FAL条約)では、密航者を「船舶所有者又は船長若しくは他の責任を有する者の同意を得ることなく、船舶内に隠れ、又は船舶に積み込まれる予定の貨物の中に隠れていた者であって、当該船舶の出港後に当該船舶内で発見され、又は到着港における積卸しの際に当該貨物の中から発見され、船長により密航者として適当な当局に通報された者」として定義されています。

2. 密航者による影響

密航者に乗船されると、その密航者の行動が時として本船の安全に重大な脅威を与えることがある事もあり、また、密航者の事件はとても複雑で費用がかさむこともあります。

多くの場合、密航者は本国に送還しなければなりません。その人物がパスポートなどの身分証明書を持っていないとそれが難しくなることもあります。また、送還時や送還を待っている間の警備も必要になります。

基本的に、各国の法規は、それぞれ自国の出入国を厳重に規制する必要から、密航者の下船上陸を簡単には許可しない為、場合によっては長期間に亘って密航者を下船させることが出来ないケースもあります。

密航者を発見した場合は、直ちに出发港に引き返すか、あるいはその国の他の港に臨時寄港して官憲に引き渡すことが早期解決につながるが、出港後に暫く気づかずに相当の日数が経った後に発見した場合は、次の港で引き渡す事になるが、身分がハッキリとしないなど本国への送還が容易にいかないことも多くあります。

また、ある事例として、船内に7名の密航者を発見した船長が、密航者達の哀れな境遇に同情し、密航者の乗船を船主に報告せず、次港入港時に港湾当局に通報せず上陸させようとしたところ、密航者達は着岸中の本船からロープを伝って海に入り、港湾当局に見つからぬよう離れの岸壁まで泳いだ。生憎2名が溺死しました。そして当局に拘束された残りの密航者5名は、本船の乗組員に強制的に下船させられたため溺死者が出たと証言した為、乗組員は過失致死罪に問われ、高額の罰金と執行猶予付き禁固を言い渡されてしまいました。

このようなケースもある為、密航者の取扱いについては細心の注意が必要であり、密航者を発見したらすぐにP&I保険会社などに相談して適切に対応することが重要です。



次頁へ続く

3. 予防策

皆さんご存知の「ISPSコード」(船舶と港湾施設の保安のための国際コード)の機能要件のひとつに、密航者などによる船舶への不正立ち入りの防止があります。

このISPSコードでは、船舶へのあらゆる不正立ち入りの危険性を考慮した船舶保安体制の評価を求めており、部外者が船舶に一切立ち入れないようにするほか、乗船許可を得た者も出港前に下船させることを基本方針としています。

船舶の入港中に開放しておかなければならない出入口に見張りを立たせておく事が重要だとしており、しかもその見張りは、訪船者や修理業者、ステベドアといった許可を得た人物が乗船する際の手続きについてもしっかりと把握しておかなければなりません。

また、人の出入りを監視するだけでなく、普段立ち入らないような場所への侵入を主眼に置いて、物理的に立ち入りができないようにする対策を取ったり、船内を手当たり次第に見て回ったりすることも必要となります。出港前には、乗組員がすべての区画をくまなく調べ、その結果を航海日誌に記録する必要があります。

密航者は、前ページの写真にもある通り、通常想像もできない所に隠れていることがありますので、それらも踏まえてくまなく調べる必要がありますし、アフリカなどの密航リスクの高い港に寄港する際は、細心の注意を払って予防策を講じる必要があります。

以上